

広島での豪雨災害を事例とした避難行動の分析—グループ・ダイナミックスの視点から—

京都大学大学院農学研究科

○庄内陽大・小杉賢一朗

1. 研究背景と目的

豪雨が発生した際、避難行動をとることなく土砂災害などに巻き込まれてしまう人が多く存在する。実際、避難指示などが発令された際の避難率は低い。そのため、避難行動を促進するような対策が必要となる。一方、その対策を考えている既存研究は、個人の意志決定に基づき避難行動が行われるという前提に立っているものが多い(図1)。



図1：一般的に前提条件とされているストーリー

しかし、その前提で行われている対策が避難率向上につながっているとは言い難い現状がある。そのため本研究では、その前提を鵜呑みにするのではなく、他の視点、すなわちグループ・ダイナミックスの視点から、避難促進に向けた様々な取り組みの前提となるような新たなストーリーを探索する。

2. 研究手法

2.1 データ

『平成26年8月20日広島豪雨災害体験談集(海堀正博,柳迫長三, 2015)』及び『平成30年7月豪雨災害(広島県)体験談集(海堀正博,柳迫長三, 2019)』に記載されている作文の内、災害発生以前に関する記述があるものを対象として解析をした。

2.2 解析手法

解析対象とした作文の内、災害発生前の語りの部分を精読し、何が書いてあるのかを分析する、内容分析を実施した。なお、分析は、避難は実施されたのか、災害発生当日どのように過ごしていたのか、避難行動のきっかけは何であったのかを中心的に行った。

3. 結果と解釈

3.1 結果

3.1.1 避難の有無

体験談を解析した結果、事前の避難なしが130人、事前の避難ありが35人、その他（避難の有無が読み取れないケースや外出していた結果帰宅困難となったケース）が33人であった(図2)。なお、以降の解析では避難の有無の判断の付く165件の作文を対象とした。

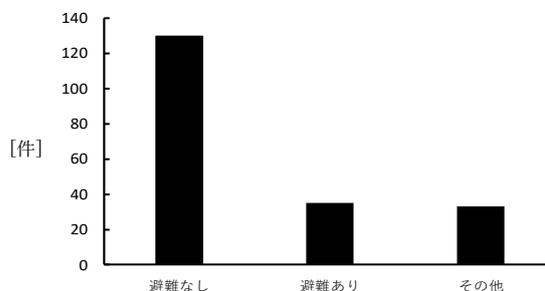


図2：避難の有無

3.1.2 当日の過ごし方

災害発生前に関する記述の部分では、睡眠・食事・入浴・仕事や用事・趣味や娯楽に関する記述が多く存在し、165件の作文の内112件の作文でそのような日常生活に関する記述が見られた。なお、具体的な内訳は図3に示す通りとなった。

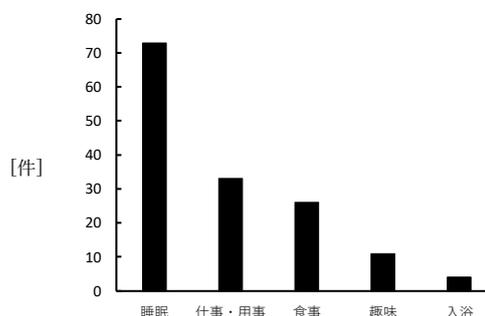


図3：日常生活の語り

3.1.3 避難のきっかけ

事前に水平避難した人に関して、避難につながった事柄が何であるかを解析したところ、道を流れる

水、川の濁流などの外の様子との遭遇が挙げられているものが18件、避難指示などの避難情報との遭遇が挙げられているものが16件、近所の人や親戚からの避難の呼びかけなどの周囲の人の声が挙げられているものが14件存在した(図4)。

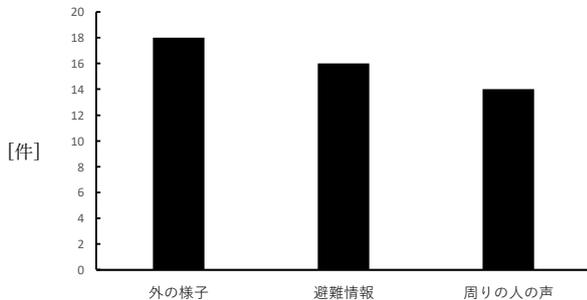


図4；避難したきっかけ

3.2 解釈

これらを、人の行為は“空気”（「空気を読む」の文脈で使われる空気のこと）に縛られていると捉えるグループ・ダイナミックスの視点から解釈すると、以下のようなストーリーが提案できる。避難をした人も避難をしなかった人も最初は日常生活の“空気”の支配下にあった。そのため、仕事をしたり、趣味を楽しんだり、食事をしたり、睡眠をとったり、入浴したりしていた(図5,6)。しかし一部の人は、その日常生活の“空気”に則らず異常時であるという“空気”を色濃く反映したものや人物(すなわち濁流などの外の様子、避難情報、避難を促す他者)と遭遇し、異常時を表す“空気”へと自身らを取り巻く“空気”が一変し、その結果、避難を実施した。このように、異常時であるという“空気”が顕在化して初めて避難をするという行為が可能になるというストーリーである(図5)。

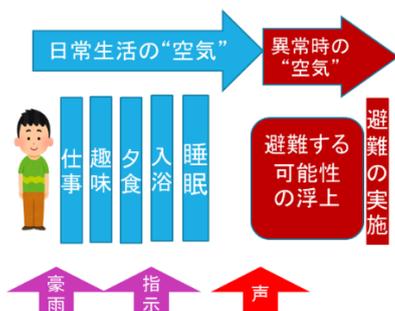


図5；避難した人のストーリー

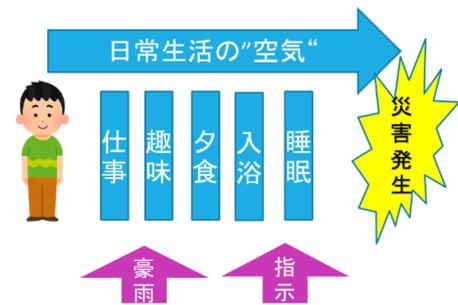


図6；避難しなかった人のストーリー

4. 新たなストーリーのもとでの対策

このストーリーに基づけば、避難実施促進のためには、まず日常生活の“空気”を打破し、異常時の“空気”へと人々を取り巻く“空気”を一変させることが重要となる。“空気”を一変させるきっかけとなるのは、異常な外の様子、避難情報、避難を促す他者といった日常生活の“空気”に則らず異常時であるという“空気”を色濃く反映したものや人物との出会いである。そのため、このような日常生活ではあり得ない異質な存在との出会いを担保する、増やすための行動を促すようなルールを住民主体で日ごろから生成しておくことが重要となるだろう。そのため、防災教室などを意志決定の基準となるような知識の伝達に焦点を合わせるのではなく、避難につながるような“空気”を醸成することに焦点を合わせ、人と人とのかかわりが生じやすいようにデザインすることが重要となるだろう。

参考文献

- ・海堀正博,柳迫長三(2015),平成26年8月20日広島豪雨災害体験談集
- ・海堀正博,柳迫長三(2019),平成30年7月豪雨災害(広島県)体験談集
- ・杉万俊夫(2013),グループ・ダイナミックス入門—組織と地域を変える実践学,世界思想社
- ・宮本匠,渥美公秀,矢守克也(2012),人間科学における研究者の役割—アクションリサーチにおける「巫女」の視点—,実験社会心理学研究 Vol.52,No.1,pp.35-44